

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	乗用車販売店 （役員）	販売量の動き	・9月以降、新型ハイブリッド車の販売が好調であり、登録台数、受注台数共に増加したが、11月は伸びが鈍化した。
		タクシー運転手	単価の動き	・各種の催事があったこともあり、利用単価は増加した。最近、観光客も増加している。
		通信会社（管理 担当） 観光名所（職 員）	販売量の動き 来客数の動き	・OA機器の需要が順調に推移している。 ・入場客数が前年比で約5%増加した。
	変わらない	一般小売店〔酒 類〕（経営者）	販売量の動き	・飲食店の忘年会の受注状況が、例年に比べて低調である。
		一般小売店〔書 籍〕（営業担 当）	販売量の動き	・店頭売上は大きく落ち込んでいるが、外商で大口の売上があった。
		百貨店（売場担 当）	販売量の動き	・定価品の動きは相変わらず悪い。特売品のなかから、品質が良くて必要なものだけを買う傾向が強まっている。衝動買いやまとめ買いも少なく、総じて購買決定に慎重である。
		スーパー（人 事）	販売量の動き	・以前にも増して販売量が減少しているという状況ではない。
		コンビニ（総 務）	来客数の動き	・11月は引き続き景気低迷の状態である。
		家電量販店（店 長）	販売量の動き	・昨年に比べると、客数、購入単価共に増加しているが、最近の伸びは鈍化している。
		家電量販店（営 業担当）	お客様の様子	・依然、来客数が増加しない。まとめ買いも少なくなった。メーカーの前宣伝もあり、新製品待ちの客が多い。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・夏以降、補助金と減税の影響で販売量が増加したが、10月あたりから伸びていない。新政権の方針が不透明なため、購入意欲が薄れる傾向がみられる。
		都市型ホテル （経営者）	来客数の動き	・来客数の減少が数か月続いている。また、来客があっても単価が低下している。
		旅行代理店（支 店長）	単価の動き	・個人旅行においては、引き続き低価格商品の申込が多い。マイカー利用による宿泊のみの申込が多数を占め、JRや航空機利用の宿泊パック商品の販売額が伸びない。団体旅行も、日帰りや近場への1泊旅行が主であり、販売額が伸びない。
タクシー運転手		お客様の様子	・夜間、客の話を聞くと、3か月ぶりもしくは半年ぶりに飲みに出たという声が多い。また、昼間は、病院の送迎の車が出ることなどが影響し、タクシー利用は減っている。	
通信会社（支店 長）	来客数の動き	・10月と比較し、大幅な来客数の増加は見込めない。また、家計費との兼ね合いから、購買には結びつかないことが多い。		
通信会社（企 画） 美容室（経営 者）	お客様の様子 来客数の動き	・有料放送契約件数に大きな変動はなく、また、季節要素もない時期なので特に変わらない。 ・来客数、来店回数共に減少している。		
やや悪く なっている	商店街（代表 者）	それ以外	・前政権の緊急経済対策でわずかに光明が見え始めたが、政権交代以降、経済政策、商店街対策の行方が全く読めない。	
	商店街（代表 者）	販売量の動き	・来街者数、来客数は普段どおりだが、購入単価、購入点数が極端に低いため、売上減少に繋がっている。	
	百貨店（営業担 当）	単価の動き	・定価で販売しても売れない状況で、買い控えの傾向が顕著である。消費者の購買傾向としては、安くなるチャンスを待って買うというパターンが多い。それも、前年比2割程度低い価格なら購入するという傾向がある。	
	百貨店（販売促 進担当）	単価の動き	・歳暮セールは、前年に比べ、来客数が減少しているものの、客単価が増加し、売上高は前年並みに推移している。繊維部門は、秋冬物のセール待ちが顕著であり、苦戦を強いられている。	

スーパー（店長）	単価の動き	・客単価、販売価格が下落しているため、売上が伸び悩んでいる。	
スーパー（店長）	単価の動き	・非食品、衣料品部門の売上は、前年比5%～10%減の状態が続く。これまで堅調であった食品部門は、平均単価、客単価共に減少傾向である。	
スーパー（企画担当）	それ以外	・冬季賞与減少の影響のためか、必需品以外は買い控える傾向がある。気温が下がったタイミングの問題もあって例年動く商材でも、いまだ動かないものもある。	
衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・秋冬物の需要期に入り、11月は例年繁忙月になるが、今年は月初の飛び石連休を始め、後半の土曜日を含む3連休においても、昨年に比べて落ち込みが大きい。客単価はわずかに減少するにとどまったが、来客数が大きく減少した。	
衣料品専門店（総務担当）	単価の動き	・客の購入数量は前年比で増加しているが、購入単価の下落が大きく、売上は前年比で10%以上減少した。特に、価格帯の高い商品に対する買い控えが強く、景気の低迷を実感する。	
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・自動車の販売台数は、3か月前と比べて減少した。	
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・11月の客の動き、受注状況は悪くなった。エコカー減税や新車購入補助金の恩恵を受け、業績自体は上がったが、景気回復によって購買意欲が増しているわけではない。	
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・休日の郊外は多くの車、人でにぎわっているが、それに対し、街中は閑散としている。	
その他飲食【ファーストフード】（経営者）	来客数の動き	・来客数、客単価共に減少している。	
観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・11月は、前月に比べて来客数が低下した。今後、四国はテレビドラマの影響で、近いうちに景気が良くなるかもしれないが、今のところ見通しは良くない。	
ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・2～3か月前と比べて、来場者数の伸びが鈍化した。シーズンではあるが、前年水準より下回っている。予約状況もやや悪くなっている。	
美容室（経営者）	お客様の様子	・来客数、単価共に低迷状態で、経営努力で辛うじて利益を確保している。	
設計事務所（職員）	競争相手の様子	・同業者の多くは仕事量が減少している。また、冬季賞与の支給の有無が分からないなどの先行き不透明感から、遊びや酒宴も回数が減っている。会社全体で交際費を削減するところも増えてきており、景気は確実に悪くなってきている。	
住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・住宅展示場の来場者数は減少傾向だが、11月は特に落ち込んだ。	
悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数が増えても売上に繋がらない。
	商店街（代表者）	それ以外	・来客数に限らず単価も落ちている。
	一般小売店【乾物】（店員）	来客数の動き	・歳暮シーズンになったが、売上がまだ伸びていない。新型インフルエンザや円高の影響がある。
	一般小売店【酒】（販売担当）	単価の動き	・11月は、ボジョレーヌーヴォー解禁があり、1年で最もワインが売れる。今年は50年に一度の当たり年だが、販売量に結び付いていない。また、地方都市でも全国資本のダンピング合戦が激しいため、マージン額、マージン率共に最低であった。
	百貨店（営業担当）	それ以外	・11月は、来客数、売上高共に前年同月比減少した。婦人紳士の高感度ファッション商品、リビング・ダイニング及び宝飾等の高額商品が前年に比べ苦戦を強いられた。食品類は催事を含めて前年を確保した。来客数は土日祭日に比べ、平日の落ち込みが目立った。
	スーパー（財務担当）	お客様の様子	・来客数、単価の減少が、売上及び利益の減少に繋がっている。完全にデフレが進行している。
	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・いろんな販促によって購買促進しているが、販売量が動かない。
	衣料品専門店（副店長）	販売量の動き	・セールの実施時期が年々早くなっている。来客数は多いが、購入までは至らない傾向が強くなった。

		タクシー運転手	来客数の動き	・昼間は街を歩く歩行者が少ない。夜も飲みに出る人が極端に減少している。病院関係、会社関係も利用客が減少している。街にはタクシーが溢れる状態で、前年に比べて、利用客は相当減少している。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	鉄鋼業（総務・人事統括）	それ以外	・当社では、主要原料を輸入で賄っているため、円高の進行で損益面は予算を上回った。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・太陽光発電関連の客からの引き合いが大変多くなり、成約も少しずつ上向きになっている。ただ、その他の産業用設備部門には変化はない。
	変わらない	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注価格が上昇しないため、赤字の現場が増えた。
		輸送業（社員）	受注量や販売量の動き	・取引企業における受注量は、今年4月以降、同水準（前年同期比70%程度）で推移している。
		通信業（部長）	受注量や販売量の動き	・各販売先ともコスト圧縮期待が強く、新たな商品提案をしても乗り気ではない。当面量的拡大の期待は薄い。
		通信業（営業担当）	それ以外	・例年なら今ごろは、年末年始の旅行計画やボーナスの使い方などの明るい話題が出て来る時期であるが、今年は、ボーナスカットによるぼやきや、節約方法、消費を抑える工夫など暗い話題をよく聞く。最悪期であった夏前に比べると、景気は上向いているが、身近で個人消費が上向いている実感が少ない。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・取引先との会話から判断して、景気状況は依然低迷していると考え。
	やや悪くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・除菌関連商品の動きが鈍化した。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事は、耐震化の特需で前年を上回っているものの、民間工事は前年を大幅に下回る。
広告代理店（経営者）		取引先の様子	・大手マンション分譲会社の破たんによる直接の影響はないものの、協力会社に大きな影響が出る可能性が高い。そのため、間接的に生産に影響が出ることが予想される。	
公認会計士		取引先の様子	・客先の決算状況を見ると、収入、利益共に前年比で減少した企業が70%以上ある。	
悪くなっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・11月に入り、小売店店頭での販売が大きく落ちた。新型インフルエンザの影響など、不況感が浸透しており、消費者の購買意欲に陰りがみられることが要因である。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・競合他社との値引き合戦になりかねない。	
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人数、求人件数共に、前年同期と比べ増加傾向にある。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・歳暮、忘年会などの広告投入へのスタート時期は例年どおりである。ただ、金融、不動産、自動車業界共に、相変わらず広告出稿を抑えている。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・採用や社員教育に対する企業投資が更に落ち込んでいる。助成金の対象となる研修でも、参加がほとんど無く、行政主催の無料の就職イベントでも、一定の参加企業を募るのが困難である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人は、保安関連の臨時や短期の大口求人が複数件出たことや、緊急雇用対策による求人増加の影響で、前年度比で増加したが、新規求人における正社員比率が今年度最低となった。
		民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	・年末にかけて資金繰りがひっ迫する取引先企業があり、存続自体を危惧される企業もある。また、冬季賞与の時期であるが、前年より減額される企業が多くある。
	悪くなっている	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・新たに雇用調整を実施する企業が10社以上増加した。